

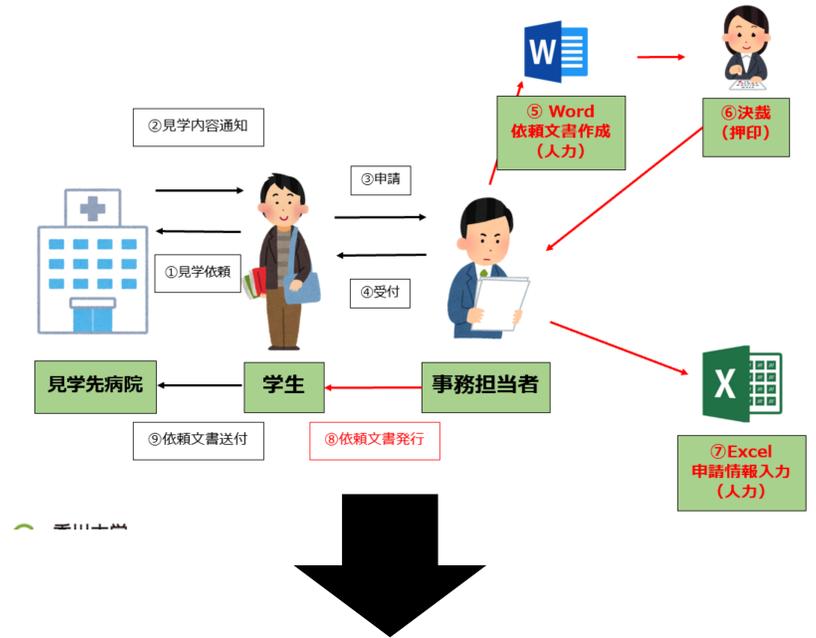
病院見学依頼文自動発行システム

福井 悠介

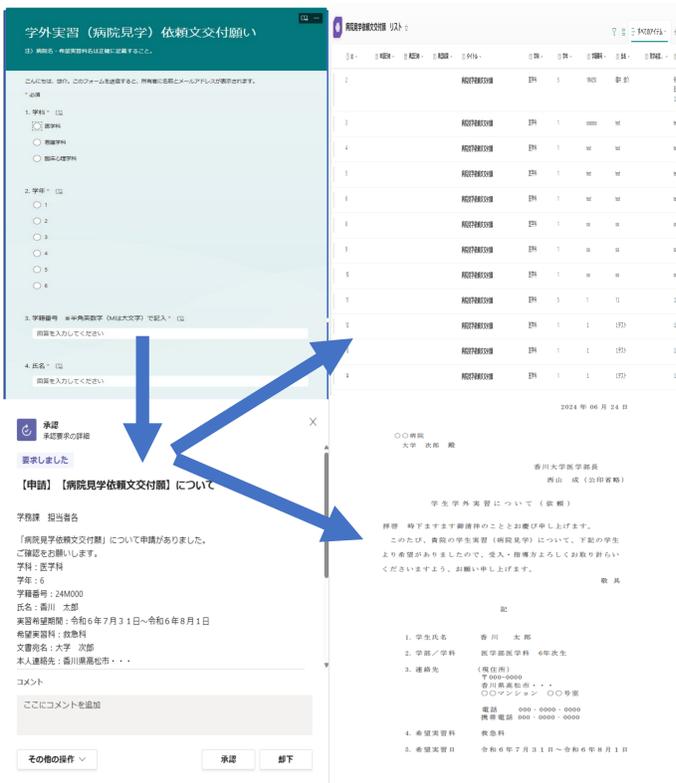
香川大学医学部学務課教務係

1. システム導入前の状況

- ・ 学生は病院見学依頼文交付願を紙媒体で申請していた（※医学科5, 6年生の学生が対象）
- ・ 事務担当者は申請書の内容をもとに見学先病院への依頼文書を作成し、決裁後に学生に窓口で交付していた
- ・ 学生は窓口に来ないと申請を行うことができなかった
- ・ 申請書の記載漏れ等に関する連絡・対応や申請内容のデータ入力に多くの業務工数がかけていた



2. システム概要



3. 病院見学依頼文発行願申請から依頼文書発行までのイメージ (DX後)

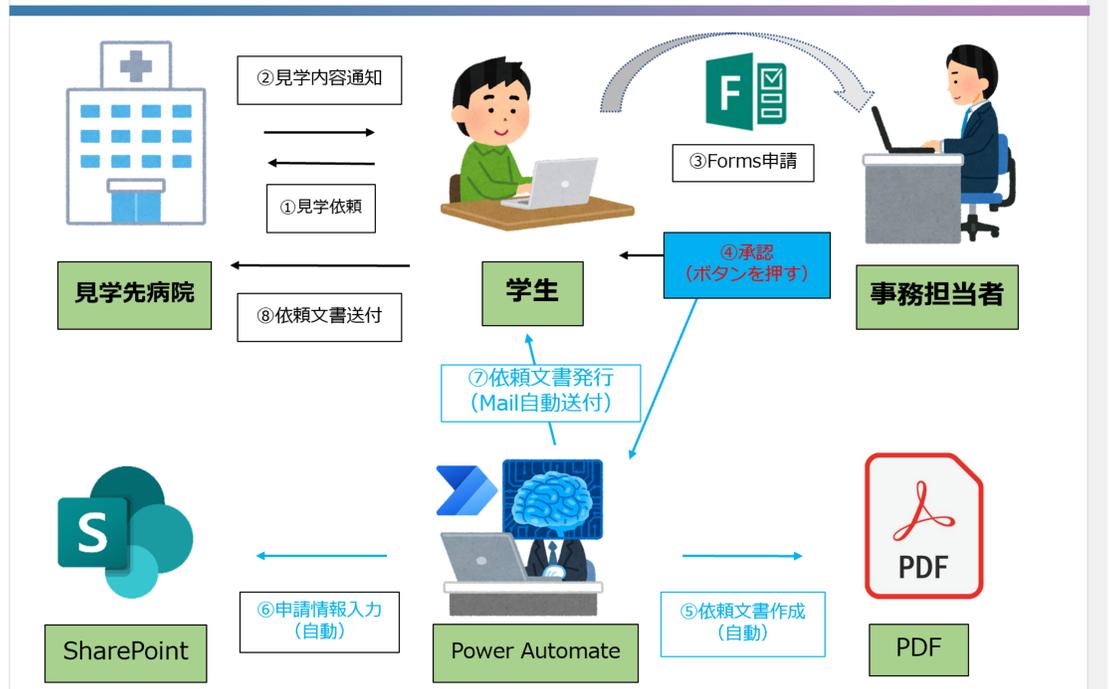


図 システム導入後

- ・ システム開発前に行ったこと
 - ① 業務フローの把握及び不要な工程の取りやめ
 - ② 担当上司への説明、了承を得る。

- ・ 開発にかかった時間
10時間程度 ⇒ やり方が分かれば初心者でも作成可能。

3. 成果・効果

- ① 今までの紙媒体での申請
直接窓口まで提出 ⇒ 受付後文書作成まで約2日必要…
- ② DX後の電子申請の場合
家からでも申請可能 ⇒ 申請後最短1時間で作成可能！！

4. 学んだ点

- ① 紙の申請から電子申請に変更することで、業務が効率化する
- ② 電子申請の土台を作成したので、今後の業務にも応用して様々な申請にも活用できる
- ③ 他部署と一緒に取り組むことで、情報共有が進み、自分の今のDXに関する知識がどれくらいのレベルにあるのかが分かった

※その他にも
・ 紙を管理する手間が省ける
(印刷ボタンを押したのに出てこない…よく見たら用紙切れで印刷できていなかった等のストレスがなくなる。)
・ 怖い上司に直接決裁を持っていく必要なし。